

20 東印工組第 76 号
平成 20 年 6 月 30 日

委 員 各 位

東京都印刷工業組合
組合運営委員会
委員長 大久保秋生

第 1 回組合運営委員会報告の件

標記について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 . 日 時 平成 20 年 6 月 23 日(木) 15:00 ~ 17:00
- 2 . 場 所 日本印刷会館 5 階会議室
- 3 . 出席者 大久保委員長、有園(墨田)・藤井(城南)副委員長、芝崎(千代田)、齋木・長谷川(日本橋)、羽生(京橋)、小島(港)、田中(新宿)、吉田・本田(文京)、小沼(上野)、真山(江東)、松村(山之手)、草間(城西)、森(杉並)、根井(豊島)、江崎・吉田(板橋)、高山(練馬)、鈴木(北)、芝原(荒川)、佐々木(足立)、小川(墨東)、井上(三多摩)各委員
(本 部) 森永副理事長、武石専務理事
(事務局) 生井局長、鴨井次長、竹井担当

議事に先立ち大久保委員長、森永副理事長の挨拶が行われ、続いて、各委員の自己紹介と事務局の紹介が行われた後、大久保委員長を議長に議事が進められた。

【議題 1】平成 20 年度事業計画・予算及び委員会の運営について

- 1 . 平成 20 年度事業計画
大久保委員長が以下説明した。
組合員加入増強運動を実施するとともに、メーカー・ベンダー等を含めた業界全体での情報交換を活発にすることを目的として、賛助会員制度の検討を行う。また、「組合員の集い」の開催や対外的にアピールできる組合事業を積極的に広報するものとする。
 - (1) 組合員加入増強の推進 / 加入増強部会担当
加入増強運動の実施
賛助会員制度の検討
 - (2) 広報活動の充実 / 広報部会担当
「組合員の集い」の開催
組合情報の受発信の充実
全印工連 M U D 事業への協力
 - (3) 組合員台帳調査の実施
 - (4) 中小企業人材確保推進事業への協力(組合紹介ガイドの作成)

2. 平成 20 年度委員会予算

事務局が以下説明した。

(単位 = 千円)

	予算	備考
組合運営対策費	810	
委員会運営費	90	委員会4回
専門部会運営費	60	
加入増強部会	30	部会3回
広報部会	30	部会3回
加入増強推進費	660	加入功労者@2,000*39社、加入奨励金@10,000*40社 目標達成支部@50,000、特別功労賞@30,000 760千円(パンフA4サイズ 4,500部(各支部100社郵送、展示会 1,000部、各支部予備50部、本部200部)作成(@80)、パンフ発 送代行250千円、パネル150千円) *補助金による助成あり(940千円)

3. 委員会の運営

大久保委員長が以下の専門部会を設置する旨説明し、続いて、それぞれ部会長(副委員長兼任)及び部会委員を委嘱し、それぞれ承諾を得た。

加入増強部会

部会長(副委員長兼任): 藤井委員(城南)

部会委員 : 吉田(文京)、真山(江東)、小川(墨東)各委員

広報部会

部会長(副委員長兼任): 有菌委員(墨田)

部会委員 : 桶野(浅草)、森(杉並)、井上(三多摩)各委員

4. 委員会代理出席の件

事務局より標記の件について下記のとおり説明し、了承された。

委員が所用によって委員会に出席できない場合は、代理の方に極力出席していただきたい。なお、代理で出席される方については、委員会事業に関心のある、あるいは問題意識の高い方が望まれますので、その点もご配慮願います。

【議題2】事業計画の具体的推進について

1. 組合員加入増強の推進(加入増強部会担当事業)

大久保委員長が以下説明し、今年度も昨年同様の推進方法で良いか意見を求めた。

目 標 : 期首組合員の純増5%を目標

時 期 : 9月~12月(共済キャンペーンと連携)

報 奨 : 加入奨励金 1社につき1万円(各支部へ)

加入功労者 感謝状と1社につき2千円(個人へ)

特別功労賞 : キャンペーン期間中10社以上加入のあった支部へ3万円

目標達成支部への報奨 : 支部へ5万円贈呈と感謝状

(藤井副委員長)

東印工組にどんな事業があれば加入を進めやすいか、委員の皆さんにアンケートをしてはどうか。

(草間委員)

パンフレットを作成し3年経過しているので新しいものを作成したほうが良い。

(森永副理事長)

今年は未加入企業の一部にパンフレットを送付する予定で予算を組んでいる。

誰の為のキャンペーンなのかを考える必要がある。また、共済と一緒にキャンペーンを行うことで、盛り上がりが出るのではないかと感じる。なお、新規加入者のメリットとして賦課金、出資金を半額にすることは、組合企業間の公平性を考えると疑問である。

(大久保委員長)

平成18年に購入した未加入企業のデータの中から、パンフレットを送付する企業を各支部に選んでいただきたい。

(有菌副委員長)

共済キャンペーンと一緒にやるべきであろうか。また、加入増強キャンペーンは年間を通じて行うべきではないか。あえてやるならば、キャンペーン期間外は1社加入で3ポイントのところを、期間中は5ポイントにする等ポイント制にしてはどうか。加入していただいた方へのキャンペーンという考え方が正解のような気がする。

(吉田委員)

メリハリをつけるために、キャンペーン期間はあった方が良くと思う。また、加入を勧める際に、共済も一緒に説明すると喜ばれるので、共済と併せてキャンペーンを行うことに賛成である。

(事務局)

「5共済制度」キャンペーンの挙績のカウントは年間を通して行うが、キャンペーン期間中は挙績のポイントを5割増しにするという方法でキャンペーンを行っている。組合員加入増強キャンペーンも期間中に加入した場合は、図書カードを割増しにする等の方法ではいかがか。

(芝原委員)

キャンペーン期間中に加入していただいた企業は賦課金を安くするという方法はどうか。

以上の検討を受けて、今年度もキャンペーンの実施については承認され、推進方法等の詳細は部会で検討することで了承された。

2. 賛助会員制度の検討(加入増強部会担当事業)

大久保委員長が、メーカーやベンダー等を含めた業界全体での情報交換をより密に行う場を設けるため、今後賛助会員制度の検討を進めていきたい。また、森永副理事長より、法律的な問題がないか確認した上で、どういった方に声をかけるべきか、どういう形で進めるべきか検討を行う必要がある旨説明し、今後、加入増強部会で検討を行うことで了承された。

3. DVDの作成について(加入増強部会担当事業)

大久保委員長が、未加入企業を勧誘するためにDVDを作成してはどうかとの提案があるが、DVDを受け取って見てくれる方は、そもそも加入の意思がある方ではないだろうか。作成のために多大な費用をかけても効果は薄いように感じる旨発言した。

続いて、森永副理事長が、映像があった方が事業を理解していただきやすいのではな

いかということで、昨年度から様々な事業を映像で残している。仮に DVD を作成し、未加入企業に渡しても見ていただけるか、また、見せる場所があるのか疑問である。費用対効果の問題もある。しかし、映像で説明すれば一目瞭然だとも思うので、どのようなものにするか加入増強部会で検討してはどうかとの補足説明をした。

以上の説明を受けて、各委員が以下発言した。

(小島委員)

ホームページ上での公開も考えられるのではないか。

(草間委員)

先日の事業・共済委員会に出席したが、共済に加入していただける企業は、DVD を見なくても加入するだろうとのことであった。販促ツールとしては良いと思うが実質的な効果については疑問がある。DVD を配布してもしなくても、加入するところはするし、加入しないところはしないだろう。

(森永副理事長)

共済については、パンフレットを見るより映像で見たほうが分かりやすいだろう。共済の DVD は支部の地区会等で我々の仲間に見せることができるが、加入増強は未加入企業に見せなければ意味がない。DVD を見せるようなシチュエーションがあるだろうか。また、DVD をばら撒いたところで見ただけか疑問である。費用の面からもパンフレットのほうが良いような気もするが、作成の是非を部会で検討いただきたい。

以上の意見交換を経て、DVD の作成については、今後、加入増強部会で検討することとなった。

4. 「組合員の集い」開催について(広報部会担当事業)

事務局が予算の説明を行い、続いて、大久保委員長が、資料 No.4 「組合員の集い会場比較」の説明を行い、これまで東・南・北ブロックで開催していることから、来年は、残る西ブロックで同じスタイルで開催したほうが良いように感じる。メーカーに声をかけるかどうか等内容の詳細については、検討の余地があるだろうとの説明をし、今年度の「組合員の集い」も従来と同じようなスタイルで開催することについて諮り、承認された。併せて、会場について検討を行い、大きな問題がない限り、平成 21 年 2 月 6 日(金)に京王プラザホテルで開催することが確認された。

続いて、大久保委員長が、参加費について、6,000 円のままでは外部講師を招くのは難しいので、講師によっては 7,000 円も視野に入れ検討を行っても良いか意見を求めた。

(森永副理事長)

年初であるし、水上理事長にお願いしても良いように思う。業態変革についての講演も良いのではないか。執行部と組合員との距離を縮めるために、理事長の話しを直接聞ける機会を設け、熱意や組合のあり方について講演いただくのは良いと思う。

(草間委員)

昨年、浅野前理事長や水上理事長の講演を聞く機会は度々あったが、他の副理事長の話聞く機会がなかったので、10 分～15 分くらい聞いてみたいという気持ちがある。外部講師を呼ぶよりも、内部のコミュニケーションを図るほうが良いと思う。

(森委員)

支部によっては参加費の補助も行っており、6,000 円が 7,000 円になっても支障はない。

(長谷川委員)

行政等の助成について調べてみてはどうか。

以上の検討を受け、大久保委員長が、講師によっては参加費 7,000 円くらいまで幅を見ながら、詳細は広報部会で検討を進める旨総括した。

5．組合情報の受発信の充実（広報部会担当事業）

大久保委員長が、ホームページや機関誌について今後ご意見をいただきたい。組合ホームページには「支部だより」という項目があるので、各支部でPRしていただきたい。また、ホームページで公開していいものと、いけないものがあり、加入したからこそ得られる情報もあるので、これらの課題も含めて充実を期したい旨説明した。

続いて、森永副理事長が、東京の印刷とホームページの作成は全て事務局にお願いしているのが現状だ。実際に印刷業を行っている我々の思いを載せるためには、我々組合員が関わらないといけないように感じる。自分達で作っている本を自分達を読みたくないというのは、事務局任せになっているからではないか。この辺についても部会で検討して欲しい旨発言した。

6．全印工連MUD事業への協力（広報部会担当事業）

森永副理事長が、一般の人達へ理解を広げるため、今年もコンペティションを行う予定である。東京では各ブロックや支部等でセミナーを開催していただき、多くの方に理解していただきたい。地方では行政と連携してキャンペーンを行っているところもあるので、行政と連携しながらPRできればと考えている旨説明した。

続いて、有蘭副委員長が、墨田区では区主催の産業展でポスター・カレンダーを出品するなど、毎年活動を行っている旨発言した。

【議題3】組合員台帳調査の実施について

事務局が以下調査スケジュール及び組合員台帳の就業員数が賦課金算定の要素である旨説明した。

続いて、大久保委員長が、支部によっては回収が遅れたり、回収率が悪いことがあるので、期日までに提出していただけるよう各支部で喚起していただきたい旨要請した。

スケジュール概要

8月上旬	組合員へ調査票配布 [東印工組 （支部） 組合員]
	支部によっては本部から組合員へ直送
9月末	調査票提出〆切 [組合員 （支部） 東印工組]
	支部によっては組合員から本部へ直送

【その他】

1．作業交流ガイド2008の監修について

事務局が「作業交流ガイドブック2008」の発行要領について説明し、昨年度から、組合員と非組合員との区別をつけるために、組合員企業にはマークを付けると共に、非組合員が掲載する場合は1,000円の掲載料をいただくようにしたが、有料化することによって非組合員の掲載の申し込みが減少してしまったため、非組合員の掲載について今年度も有料とするか検討いただきたい旨説明した。

（森永副理事長）

インターネットで検索できる時代になっており、冊子形式は時代遅れではないかと思う。

（藤井副委員長）

組合員のマークを印刷マークにすることは出来ないか。

以上の検討を受け、大久保委員長が、非組合員も掲載データを数多く集めるため無料とし、組合員のマークを印刷マークかなるべく目立つものに変更すること、さらに、東印工組 HP への転用掲載（パートナーリンク集）について諮り、承認された。

2．今後の日程

第 2 回	8 月 25 日（月）	15：00～	終了後暑気払い
第 3 回	11 月の中下旬頃	15：00～	
第 4 回	1 月の最終週頃	15：00～	

以上